

おもしろ環境まつり趣意書

1. 名称

おもしろ環境まつり

2. 日時

令和6年12月8日(日) 11:00から15:00まで

3. 場所

和歌山市みその商店街(和歌山市美園町5丁目アーケード周辺)

4. 趣旨

環境問題は、気候変動やマイクロプラスチック、食品ロス、砂漠化、森林破壊、生物の絶滅、水や食の安全性の低下など多岐に渡ります。これらの問題を解決するには長い時間がかかり、大人から子供へとバトンを渡しながらか、持続可能な社会を実現していく必要があります。未来を見据えた「和歌山」の市民や、企業の「明るくポジティブな」挑戦を子供たちの世代に受け継いでもらいたい、その入り口になればという強い思いから、今年も「おもしろ環境まつり」を開催します。

「おもしろ環境まつり」のテーマには「エネルギー」、「食べものと水」、「ごみゼロ(3R)」、「生き物(生物多様性)」、「気候変動」そして「防災・減災」があります。これまでの環境保全活動の多くは「我慢」と「お金のかかる技術」が中心でしたが、「面白さ」、「楽しさ」や「工夫」を通じて環境保全の必要性に気づいてもらいたい、そして未来の環境技術開発や施策への意欲を刺激したいという思いを込めています。押しつけではない、子供たちが自発的に「環境保全は当たり前」と言える未来を実現するため、楽しみながら環境保全への理解を深められる内容としています。また、県内の多数の小学生が夏休みに自ら考えて実践した環境に配慮した活動「わかやまこどもエコチャレンジ」の成果も紹介します。さらに、子供たちが地元和歌山で暮らし続けたいと思えるよう和歌山の魅力を紹介することも意識します。和歌山の未来、子供たちの未来が、環境も経済も生活も明るく楽しいものであるという印象を持ってもらうことを目指しています。

ぜひとも、この趣旨にご賛同いただき、ご後援、ご寄附、ご出展、PRへのご協力、運営スタッフとしてのご参加、ご来場など、皆様方のご協力をお願いする次第です。

5. 出展内容

6つのテーマに関する展示

- ・ エネルギー
- ・ 食べものと水
- ・ ごみゼロ(3R)
- ・ 生き物(生物多様性)
- ・ 気候変動
- ・ 防災・減災

環境を学ぶ出展、ステージ発表

6. 出展協力者

環境保全活動に取り組むNPO、市民団体、企業、自治体

7. 対象

小学生及び一般 (目標人数)のべ 2,000人

8. 主催等

○主催

おもしろ環境まつり実行委員会

○共催

青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会(おもしろ科学まつり)

○後援(依頼予定)

○協賛(依頼予定・募集中)

9. 実行委員会名簿(敬称略・順不同)

	氏名	所属
委員長	中島 敦司	和歌山大学システム工学部
副委員長	志場 久起	和歌山県NPOサポートセンター
委員	井筒 博紀	一般財団法人和歌山環境保全公社
委員	大橋 友紀	サステイナブル・フォーラムわかやま
委員	櫻村 健	エコネット紀中
委員	黒井 成男	伊都・橋本地球温暖化対策協議会
委員	多田 祐之	紀南地域地球温暖化対策協議会
委員	塚田 晃司	和歌山大学システム工学部
委員	道本 みどり	NPO法人わかやま環境ネットワーク
委員	中場 毅	和歌山県環境政策局
委員	なかむら いづみ	NPO法人和歌山有機認証協会
委員	平井 千津子	和歌山大学アントレプレナーシップデザインセンター
監事	城 保宏	ストップ温暖化岩出の会
事務局	臼井 達也	和歌山県地球温暖化防止活動推進センター
事務局	大滝 真緒	NPO法人わかやま環境ネットワーク
事務局	楠本 延樹	NPO法人わかやま環境ネットワーク